

クラス	307	担当教員	板垣賢二
テーマ	子ども達とつくる楽しい授業 ～楽しく質の高い算数の授業とは～		
著書・論文 研究課題等	● 「失敗とムダだらけの授業でこそ子どもは育つ」(’24/9 知多青年教師の集い 講演) ● 「子どもとつくる楽しい授業 授業スタンダード化を考える」(’22/12 民教研 講演) ● 「小学校高学年における連続量の乗除に関わる学習を『1 としてみる』認識形成を主軸に一貫した学習を展開する試み」(’24/6 東海地区数学教育協議会研究大会 講演) ● 「ICT 教育の中だからこそ “ほんまもん” の授業を リアルな学びこそが子どもの思考を育む」(’21/11 数学教育協議会全国小学校集会 講演)		
ゼミナール概要			
キーワード：算数科教育、楽しい授業、楽しい学校、紙芝居・実験・ゲーム・教具、学級作りと授業			
目的			
もしあなたが、「算数・数学って、先生が教科書で問題の解き方を教えてくれて、覚えて何度も練習をして、難しい応用問題にも挑戦して、テストで点を取れたらうれしい教科」と考えているとすれば、ぜひそのイメージを壊すために一緒に研究をしましょう。 算数・数学の基本概念の多くは、現実の社会や自然、子ども達の生活や行動の中にその源があります。それを子どもと一緒に見つけ出し発見する、またそれを使って現実を見直す、そのサイクルを組織するのが算数・数学の授業です。その中で子ども達は言語と同じように算数・数学を一つの思考ツールとして使えるようになり、民主的で平和的な社会を形成するための主権者として成長するのだと考えます。 算数・数学の授業で「〇〇力を育成する必要がある」と子ども達に無理難題を強制し、数学嫌いが増えています。算数・数学を見つける授業、それはとても楽しい授業です。数学の基本原則を正しく理解した上で、紙芝居、ゲーム、実験、教室を飛び出した測定などを、子どもの知的好奇心を満たしながら共同活動を組織するのが授業者の指導性です。その力量を付けるために、教材研究を軸に授業について考えていきましょう。 また算数数学の授業に限らず、小学校での 33 年間の現場経験を生かし、学校や教育をめぐる様々な問題を現場に即して取り上げ、「楽しい授業、楽しい学校」についても具体的に考えていきたいと思います。			
内容			
● 授業研究 ①教材研究 算数の教材をその学問的価値や系統性や発展性から幅広く比較検討し研究します。②教材開発 教材研究をもとに教具や実験、活動、ゲーム、物語（紙芝居など）を共同開発します。③授業化 子ども達が自ら考え話し合いたくなるような教材化や授業展開を考えます。 ● 「楽しい授業、楽しい学校」とはどういうものか、テーマを設定して話し合います。 ● 「子ども達とつくる楽しい授業・学校」を実現するための研究仮説を持ち、卒業論文にします。			
方法			
● 理論書もしくは実践書をテキストとして選び学び討議します。その際は、板垣の行ってきた授業実践や全国各地の授業実践も紹介します。できるだけ広く授業記録や文献を読んだり、実際の授業を参観したりし、ゼミで論議することで自分の問題意識をもち、学びを深め、仮説を立ててください。 ● 現場の実践家の話を聴き交流をするために、できるだけ現場の実践に触れる研究会に参加することを勧めます。（適時遠隔研究会への参加、各種研究大会への参加を推奨 8/9,10 千葉松戸市で数教協全国大会）			
授業計画			
● 3 年生 前半はテキスト中心の学習、後半は具体的な教材研究や授業開発を個人・グループで研究しレポートにして全体で発表し検討します。理論に裏付けられたゲーム、教具、お話作りなどの教材作りや楽しい学校にするための提案をします。後半で各自の卒論のテーマ（仮説）を決めます。 ● 近隣の学校で実際に子ども達に教える体験をします。 ● 4 年生 卒業研究の中間発表を集団で討議しながら進めます。随時みなさんと相談しながら進めます。			
担当教員からのメッセージ			
● ぼくは現場の小学校教員（実践者）でしたので「研究者」ではありませんでしたが、このゼミを通して様々な論説や実践に出会い、自分の実践を検証し、共に研究する姿勢で臨むつもりです。 ● 「学校が楽しくなかった」「自分は算数や数学は嫌いで苦手だった」という人こそ大歓迎です。その原因を見つけ何とかしたいという願いを持っている人の方が、課題を見つけることができるのかもしれない。 ● 「楽しい授業」は「楽しい学級」「楽しい学校」の基本です。算数数学でなくても「子ども達とつくる楽しい学校」の実現のための研究をしたいという方も歓迎です。教員というしごとのおもしろさすばらしさを伝えたいと思っています。			